



相原 章会長 尾崎 康幹事



第2770地区 第1グループ

浦和中ロータリークラブ

2020-2021 クラブターゲット

「発見、創造、魅力あふれるクラブに！」

— 組織を創る 仲間を創る 明日を創る —



ロータリーは
機会の扉を開く

今日の例会

7月30日（木）第1416回例会
 例会時間：19：00点鐘
 例会場所：さいたま商工会議所会館 2階第一ホール
 卓話者：ネパール検証ツアー参加者
 テーマ：ネパール国際奉仕事業検証報告

次回の例会

8月6日（木）第1417回例会
 例会時間：19：00点鐘
 例会場所：さいたま商工会議所会館 2階第一ホール
 卓話者：前自衛艦隊司令官 山下万喜 様
 テーマ：海上自衛隊の現状と 未来について

会長挨拶

会長 相原 章



皆さんこんばんは。
 7月第3例会にご出席いただきありがとうございます。さて、本日は2770地区より第1グループ高橋ガバナー補佐、同じく志村補佐幹事、そして浦和ダイヤモンドロータリークラブ広瀬会長、吉野幹事、ようこそお越しくださいました。メンバーを代表して御礼申し上げます。本日で会長として3回目の例会挨拶となります。週報に挨拶を掲載するので原稿を出してくれと小嶋委員長よりご指示をいただいていることもあり、あらかじめ原稿を持ってこの場に立たせていただいていた。しかし原稿があるとしても目線が下を向いてしまい、皆さんの目を見てお話しができず、自分の思いが伝わらないのではないかと感じ、今日は原稿なしでお話します。話が脱線してしまうかもしれませんがご容赦下さい。

先日私がJC時代にお世話になった先輩がお亡くなりになりました。66歳でした。私は28歳でJCIに入会しました。新入会員として配属された委員会の委員長がその先輩でした。その後数年たって、その方が理事長になった時に私は専務理事として女房役を務めました。若い頃に最もお世話になった、私にとって大きな影響を与えていただいた、大好きな先輩でした。その先輩にある時こんなことを言われました。『JCなんて無意味で無駄なことばかりだ、100のうち99は時間の無駄、金の無駄、労力の無駄だと。でも100のうち一つだけ人生を変えるような、今までの価値観を揺さぶられるような素晴らしい宝物や体験に出会えると。でもそれは無意味で無駄な99の体験も同時に受け入れなければ手に入られない、だからとにかく出てこい』と言われました。左様にロータリーにも同じことが言えると思います。ロータリーが大好きで恋人のように思い、ロータリー愛に満ちている小宮さんのような方は別として、こんなに高い金払って、こんなことやって何の意味があるんだ？という思いは皆さんだけでなく、私も思います。しかしそのような、無意味で無駄なことの積み重ねの中にこそ宝物が隠されていると思います。事実私は今年ネパールの山奥で宝物を手に入れました。人によって宝物はそれぞれです。ロータリーを通じてそれぞれの宝を見つけて下さい。

RIの今年のテーマ「機会の扉を開く」機会とは宝物を見つける機会だと思います。クラブは皆さんの宝さがしに精一杯サポートしますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

幹事 尾崎 康



・8/20プロ グラム変更予告
 納涼例会 ⇒ 通常例会

（株）プロジェクトネット 林 郁夫様
 『中東諸国における 中国と日本』

- ・各部門セミナー（リモート 会長・担当・新会員）
- ・8/10（月）会員増強維持部門（会長・横田・尾崎）
- ・8/22（土）公共イメージ部門

☐ ゲストビジターの紹介



一年間
頑張ってください！

高橋宜治ガバナー補佐・志村佳重補佐幹事
 （浦和ダイヤモンドRC）



浦和ダイヤモンドRC広瀬隆会長・吉野康幸幹事

本日のSAA部隊



■ クラブ戦略計画について

クラブ戦略委員会
小宮 泰二委員長



国際ロータリー理事会と財団管理委員会は2018年に発表されたビジョン声明に基づき、2019年7月より実施する新しい戦略計画を採択しました。今後5年間はこの計画に基づいて運営されることとなります。2012年の戦略計画のクラブのサポートと強化のなかに戦略的目標として7項目がありますが、その中にクラブと地区における戦略計画の立案を奨励するという項目があります。（8年前から奨励されていますが現状はどうでしょうか？）

国際ロータリーでは、このことを推進するために各ゾーンにRC（ロータリーコーディネーター）RPIC（ロータリー公共イメージコーディネーター）RRFC（ロータリー地域財団コーディネーター）を設置しました。今年度は第1地域のRCに浅水PDG、RPICに井原PDGが就任しています。このことは毎年ロータリーの友8月号に掲載されています。

このようなことを踏まえ、中里公造ガバナーはクラブの毎例会にクラブのビジョン声明を掲示することをクラブ会長に求めています。

なぜいま浦和中RCにも戦略計画が必要なのでしょう？クラブも創立30周年を迎え、30代から80代まで世代間も広がっています。世代間では考え方も違うと思われるし、ロータリーに対する考え方も違うかもしれません。ロータリーは企業と違って利益をあげることを目的としていないので、クラブの方向性を会員で共有する必要があると考えています。会員間で腹落ちしたビジョンをもち、それを実現させる戦略が必要であると思います。

相原会長はクラブの会員がクラブを愛する気持ちを持って欲しい。そして委員会に積極的に参加し、ともに浦和中RCを成長させて行きましょと年度計画でも述べております。それにはクラブを一度俯瞰するように分析して、強みを伸ばし弱点を減らす、批判から始まるのではなくクラブの将来を夢見るような戦略計画が必要なのです。

年度計画書に列記してあるのは、村上会長（会長年度で）を中心としたワーキンググループで現状を分析したもので、いくつかのビジョン声明の候補を見出して、最終的には相原会長に決めていただきました。下記に記載したのですが、この浦和中RCのビジョン声明は6月の理事会でご承認をいただきました。

『私たちはクラブを愛する心を育み積極的にクラブに参加し、地域社会や国際社会に対して持続可能な奉仕活動を行うことで会員自身の人格形成に寄与できる、先進的なクラブを目指します。』

このビジョンを基に今後は、戦略計画立案ガイドを参照にして、どのようにビジョンを実現できるか戦略的優先事項を設定していきます。

皆様のご協力なしには実現できませんので、よろしくお願い申し上げます。



「編集後記」今週の例会は、相原年度の目玉の一つR I 戦略計画の説明であった。クラブの現状を認識し、問題点を把握、計画を立て、目標の進捗具合を確認する。まるでI S Oをやっているみたいだが、それはそれとして、会員同士が納得したビジョンを持つ事は、いつでも重要であるとの認識は一緒である。
(T・K)

会長：相原 章 会長エレクト・幹事：尾崎 康 クラブ管理運営・プログラム委員長：三島 泉
親睦委員長：市川浩正 会員研修委員長：辻村浩司 研修リーダー：小谷野英一 公共イメージ向上委員長：小嶋敏夫
出席報告 7月16日(木)第1415回例会

会員総数(免除)	40(5)名	本日の出席率	85.71%
出席算定	30/35	メイクアップ	4
本日の出席	26		

例会日：毎週木曜日 19:00～20:00
例会場：さいたま商工会議所会館2階 第1ホール
事務局：さいたま市浦和区高砂3-17-15
さいたま商工会議所会館7階
TEL:048(838)7740 FAX:048(838)7741
ホームページ http://urawa-naka-rc.org